

平成24年度

鹿児島大学大学院保健学研究科
保健学専攻博士（前期）課程

学生募集要項

- [一 般 選 拔]
- [社 会 人 特 別 選 拔]
- [外 国 人 留 学 生 特 別 選 拔]

鹿児島大学大学院保健学研究科

保健学研究科保健学専攻博士前期課程

〔教育理念〕

本課程は、保健学における高度な専門知識・技術をもつ専門職者並びに優れた教育や研究のできる人材および離島や国際的な保健医療活動の推進・充実に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。

〔アドミッション・ポリシー〕

- 1) 保健学の専門職・教育職を目指す人
- 2) 保健学の卓越した研究を目指す人
- 3) 保健医療施設への貢献を目指す人
- 4) 離島・国際保健医療活動を目指す人

〔出願に係る個人情報保護について〕

個人情報保護に関しては、以下のとおり取り扱いますのでご了承ください。

1. 利用目的

出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、次に掲げる目的に利用いたします。

- (1) 入学者選抜、合格発表、入学手続きなど、入学までの一連の業務を行うため。
- (2) 入学後の学籍関係（学生証交付、各種学籍処理、証明書発行等）、修学関係（履修登録、学業成績等）及びそれらの連絡通知を行うため。
- (3) その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため。

2. 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることにいたします。

- (1) 本学入学者について、名簿作成及び連絡通知等に使用するために本学の関連組織である学友会・同窓会等からの名前、所属に限り照合に応じる場合。
- (2) 法令に基づき公的機関等の要求に応じる場合や出願者本人及び第三者の生命・身体・財産の権利利益を保護するために必要な場合は、本人の同意を取ることなく、個人情報を提供する場合があります。
- (3) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合。

入学試験に関する日程

区 分		1 次 募 集	2 次 募 集
募 集 人 員	看 護 学 領 域	1 2 人	若 干 人
	理 学 療 法 ・ 作 業 療 法 学 領 域	1 0 人	若 干 人
出願資格審査受付期間		平成23年 6月20日(月)～ 平成23年 6月23日(木)	平成23年11月21日(月)～ 平成23年11月25日(金)
願 書 受 付 期 間		平成23年 7月25日(月)～ 平成23年 8月 4日(木)	平成23年12月20日(火)～ 平成23年12月26日(月)
入 学 試 験 日		平成23年 9月22日(木)	平成24年 1月25日(水)
合 格 発 表 日		平成23年10月14日(金)	平成24年 2月 8日(水)
入 学 手 続 期 間		平成24年 2月27日(月)～平成24年 2月28日(火)	

保健学研究科では、入学定員に達しない場合は、追加募集を行うことがあります。
その際には保健学研究科のホームページでお知らせいたします。

HP <http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~gakumu/nyugaku/hokenenter.html>

目 次

学生募集要項

1	募集人員（1次・2次）	1
2	出願資格	1
3	出願方法	2
	(1) 一般選抜	
	(2) 社会人特別選抜	
	(3) 外国人留学生特別選抜	
4	出願書類等	2
5	出願資格審査（1次・2次）	3
6	出願手続（1次・2次）	4
7	選抜方法等（1次・2次）	5
8	出願及び受験にあたっての注意事項	6
9	合格者発表（1次・2次）	7
10	入学手続	7
11	博士前期課程の修了要件及び学位の授与	7
12	大学院設置基準第14条による教育特例	8
13	長期履修学生制度	8
14	障害を有する入学志願者の事前相談	8
15	入試情報の公開・開示	9
	看護学領域及び理学療法・作業療法学領域の概要	10
	1 目的	
	2 各領域・分野の概要	
	3 教員の研究課題等	

出願書類様式

試験場及び交通案内図

1 募集人員

専攻	領域	分野	募集人員	
			1次募集	2次募集
保健学専攻	看護学	基礎看護・地域看護学 臨床看護学	12人	若干人
	理学療法・ 作業療法学	理学療法学 作業療法学	10人	若干人

募集人員には、社会人特別選抜の若干人及び外国人留学生特別選抜の計2人を含む。

2 出願資格

一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜

大学を卒業した者及び平成24年3月31日卒業見込みの者（学校教育法第83条）

大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成24年3月31日までに大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者（学校教育法第104条第4項）

外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月31日修了見込みの者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月31日修了見込みの者

我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成24年3月31日修了見込みの者

専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

平成24年3月31日現在で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認められた者

個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者で、22歳に達した者及び平成24年3月31日までに22歳に達する者（学校教育法施行規則第70条第1項第6号）

(注) 出願資格が上記、により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を行いますので、あらかじめ学務課大学院係まで照会してください。(3～4ページ参照)

3 出願方法

入学者の選抜は、一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜により行いますので、下記の選抜方法を選択のうえ出願してください。

(1) 一般選抜

一般選抜に出願できる者は、上記「2 出願資格」のいずれかに該当する者としてします。

(2) 社会人特別選抜

社会人特別選抜に出願できる者は、入学時において医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において3年以上専門的な実務経験（通算可）を有する者で、上記「2 出願資格」の各号のいずれかに該当する者としてします。

(3) 外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜に出願できる者は、外国の国籍を有し、日本における在留資格が本学の入学に支障がない者で、上記「2 出願資格」のいずれかに該当する者としてします。

4 出願書類等

一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜に係る出願書類は、下記の「出願書類(1)」のとおりとします。

なお、社会人特別選抜は、「出願書類(1)」に併せ「出願書類(2)」を提出してください。

出願書類(1)

出 願 書 類 等		摘 要
①	入 学 志 願 票	本要項添付の所定の用紙に記入すること
②	受 験 票 ・ 写 真 票	写真（縦4 cm×横3 cm、正面、上半身、無帽、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）を各1枚貼付
③	成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの ※ 大学評価・学位授与機構から学位を授与された者は、学位申請時に提出した短期大学、専攻科及び他大学で修得した単位修得証明書を併せて提出すること。また、大学に編入学した者にあつては、編入学前の短大・専門学校等の成績証明書を併せて提出すること。
④	卒 業（見 込）証 明 書	出身大学（学部）長が作成したもの
⑤	学 位 授 与 証 明 書 又 は 学 位 申 請 受 理 証 明 書	「2 出願資格②」に該当する者で大学評価・学位授与機構が証明したもの
⑥	入 学 検 定 料	30,000円（国費外国人留学生は除く） 別紙所定様式により、郵便局の窓口（午前9時～午後4時）で、検定料30,000円を払い込み、受け取った「郵便振替払込受付証明書（お客さま用）」の受付局日附印欄の押印を確認のうえ、「検定料納付確認票」に貼付して提出すること

		<p>また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない</p> <p>①検定料を振込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）</p> <p>②誤って検定料を二重に振込んだ場合</p>
⑦	返信用封筒（受験票送付用）	本要項所定の封筒に、志願者の住所、氏名、郵便番号を明記のうち、切手（350円分）を貼付すること
⑧	宛名票（合格通知用）	本要項所定の用紙に、住所、氏名、郵便番号を明記すること
⑨	研究志望書	本要項所定の用紙に、志望する研究テーマ、目的、動機、内容についてまとめたもの
⑩	外国人登録原票記載事項証明書	外国人登録原票記載事項証明書（市区町村が発行したもの）を提出できない場合は旅券の写を提出すること（外国人留学生特別選抜志願者のみ）
⑪	出願資格審査結果の通知書	「5 出願資格審査」で申請した者は、審査結果通知書の写しを添付すること

出願書類(2)

⑫	就学承諾書	本要項所定の用紙により、所属長が発行したもの
⑬	在職期間証明書	在職時の職名、勤務時間を所属機関の長が証明する書類で3年以上の実務経験を証明したもの（様式任意）
⑭	業績調書(社会経験を含む)	本要項所定の用紙に記入すること

5 出願資格審査

本要項「2 出願資格」の、により出願を希望する者は、下記により出願資格の認定を受けてください。

なお、書類提出にあたっては、予め志望する分野の予定指導教員に照会してください。

(1) 提出書類

A 出願資格により出願しようとする者

①	入学試験出願資格認定申請書	本要項所定の用紙に記入すること
②	成績証明書	在籍する大学(学部)長が作成し厳封したもの
③	在学(期間)証明書	在籍する大学(学部)の長が作成したもの
④	推薦書	在籍する大学の(学部)長が作成し厳封したもの（様式任意）
⑤	審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を明記し切手(80円分)を貼付したもの

B 出願資格 により出願しようとする者

① 入学試験出願資格認定申請書	本要項所定の用紙に記入すること
② 最終学校成績証明書	出身学校長等が作成し厳封したもの
③ 最終学校卒業証明書	出身学校長等が作成したもの
④ 在職期間証明書	技術的・専門的職業についての職歴を有する者で、その期間及び職務内容を明記し、所属機関の長が作成したもので3年以上の実務経験を証明したもの(様式任意)
⑤ 自己推薦書	本要項所定の用紙に記入すること
⑥ 業績調書(社会経験を含む)	本要項所定の用紙に記入すること
⑦ 出身学校の規定等	卒業要件(在学期間、授業科目、単位数)の記載されたもの及び卒業に必要な授業科目の授業内容が記載されたもの(シラバス等)
⑧ 審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を明記し切手(80円分)を貼付したもの

(2) 出願資格審査書類提出期間及び審査結果の通知

事 項	1 次 募 集	2 次 募 集
出願資格審査書類の提出期間	平成23年 6月20日(月)～ 平成23年 6月23日(木)17時迄	平成23年11月21日(月)～ 平成23年11月25日(金)17時迄
審査書類提出方法	封筒の表に「大学院出願資格審査書類在中」と朱書し、最終日の17時まで に持参または書留・速達郵便により提出すること	
審査書類提出先	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1 TEL 099-275-5120 鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課大学院係	
審査結果の通知	平成23年 7月14日(木)付け	平成23年12月15日(木)付け
	上記日付で申請者宛に郵便で通知するので、出願資格を認定された者は、 出願手続を行うこと。なお、成績証明書、卒業証明書、在職期間証明書及び業 績調書(社会経験を含む)は、再提出する必要はない	

6 出願手続

出願受付期間等

事 項	1 次 募 集	2 次 募 集
願 書 受 付 期 間	平成23年 7月25日(月)～ 平成23年 8月 4日(木)	平成23年12月20日(火)～ 平成23年12月26日(月)
出願書類提出方法	所定の封筒を使用して、持参または書留・速達郵便により出願すること。各 募集最終日の17時までには必着すること	
出 願 書 類 提 出 先	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1 TEL 099-275-5120 鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課大学院係 HP http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~gakumu/nyugaku/hokenenter.html E-mail gakumuh@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp	

注) 1次募集の出願受付期間に、2次募集の出願書類を提出しないこと。

7 選抜方法等

(1) 選抜方法

一般選抜

専門科目、外国語科目（英語）、小論文、面接、研究志望書及び成績証明書の結果を総合評価し、合格者を決定します。

社会人特別選抜

外国語科目（英語）、小論文、面接、研究志望書、業績調書及び成績証明書の結果を総合評価し、合格者を決定します。

外国人留学生特別選抜

外国語科目(英語)、小論文、面接、研究志望書及び成績証明書の結果を総合評価し、合格者を決定します。

(2) 学力試験日程等

試験科目等	各選抜の試験科目			1次募集試験日	2次募集試験日
	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	平成23年 9月 22日(木)	平成24年 1月 25日(水)
専門科目				9:00～10:30	9:00～10:30
外国語科目 (英語)				11:00～12:00	11:00～12:00
小論文				13:00～14:00	13:00～14:00
面接				14:30～	14:30～

英語の試験では、英和・和英辞典及び医学専門英語辞典の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可。
2次募集の試験時間帯は、出願者数により変更することがある。この場合出願者に電話で連絡する。

(3) 専門科目

一般選抜出願者は、志望する分野の専門試験科目の中から、1科目を選択受験すること。

領域	分野	専門試験科目
看護学	基礎看護・地域看護学	基礎看護学、地域看護学、看護情報学
	臨床看護学	精神看護学、小児看護学、母性看護学 成人看護学、老年看護学
理学療法・ 作業療法学	理学療法学	病態構造解析学、神経障害学、病態生理理学療法学、動作障害解析学、生活環境動作解析学、機能障害診断・治療学
	作業療法学	高次脳機能障害リハビリテーション学、作業動作分析学、発達障害動作学、精神障害分析学、精神障害作業療法学

(4) 評価内容

試験科目等	配点	評価内容
専門科目	100	志望する分野に関する能力を問う。(一般選抜のみ)
外国語科目(英語)	100	保健学に関する英語の文献を読解できる能力を問う。
小論文	100	保健学に関する課題について、知識、考え方等を問う。
面接	100	研究者又は専門性を有する職業人としての適性及び意欲を審査する。
書類審査	100	提出された書類について審査し評価する。(社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜)

(5) 試験会場

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

鹿児島大学桜ヶ丘共通教育棟

8 出願及び受験にあたっての注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合、受理しないことがあります。
- (2) 出願に際しては、あらかじめ志望する分野の予定指導教員に照会のうえ出願してください(12ページの教員の研究課題等を参照)。
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、連絡先に変更があった場合は、学務課大学院係まで届け出てください。また、一旦受理した出願書類等は返還しません。
- (4) 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 入学を志願する者のうち、障害を有する者で受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、8ページの「14 障害を有する入学志願者の事前相談について」を参照し、出願期間前に学務課大学院係へ申し出てください。
- (6) 改姓等により卒業証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。
- (7) 試験室及び注意事項等は、試験日前日の13:00に桜ヶ丘共通教育棟玄関(末尾参照)に掲示します。ただし、試験室内に立ち入ることはできません。
- (8) 受験者は、試験開始20分前までに集合してください。なお、各試験開始後30分以上遅刻した場合は受験できません。
- (9) 試験当日は、必ず受験票を持参し係員に提示してください。受験票を紛失・忘れた者は、試験場本部に申し出てください。

試験場内での携帯電話等の使用は禁止します。これらを試験場内に持ち込む場合は、あらかじめ電源を切ってかばん等に入れてください。

机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル(黒)、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの)、辞書(英語の試験のみ:英和・和英辞典及び医学専門英語辞典は可、電子辞書は不可)です。その他のものは、指定の場所に置いてください。
- (10) 受験票は、受付期間終了後に出願者に送付します。試験日の10日前までに到着しないときは、出願書類提出先に電話等で照会してください。

なお、郵送による照会は返信用封筒(郵便番号、住所、氏名を明記のうえ80円切手を添付)を同封してください。

9 合格者発表

1次募集合格発表日	2次募集合格発表日
平成23年10月14日(金) 10時	平成24年 2月 8日(水) 10時
桜ヶ丘共通教育棟玄関に受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送する。なお、電話、その他による個別の照会には応じない。	

10 入学手続

合格者は、入学手続期間内に直接来学のうえ入学手続を行ってください。なお、入学手続の詳細については、後日送付します。

- (1) 入学手続期間 平成24年 2月27日(月)～平成24年 2月28日(火)

(受付時間 9時から17時まで、時間を厳守願います。)

入学手続期間内に入学の手続を行わなかった者は、入学を辞退したものと取り扱いますので留意願います。

- (2) 提出書類 本学所定の書類を平成24年 2月中旬に送付します。

- (3) 納付金 (平成23年度実績)

入学料 282,000円

授業料 (前期分) 267,900円

(年 額) 535,800円

- (注) ア 在学中に授業料の改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用されます。

イ 授業料の納付に関する詳細は、平成24年 2月中旬に送付する入学手続書類でお知らせします。

ウ 入学手続完了者が入学を辞退した場合、既納の入学料は返還できません。

エ 入学料、授業料については徴収猶予及び免除の制度があります。

詳細は、鹿児島大学学生部学生生活課経済支援係 (電話099 - 285 - 7335) まで問い合わせてください。

- (4) 入学手続場所 鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課大学院係

11 博士前期課程の修了要件及び学位の授与

- (1) 修了要件・履修方法

本課程に2年以上在学し、所定の単位を30単位以上修得し、必要な研究指導を受けた上、本課程の目的に応じ、修士論文審査及び最終試験に合格することとしています。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

- (2) 取得できる学位

課程・修業年限	専攻	領域	取得できる学位
博士(前期)課程 2年	保健学	看護学	修士(看護学)
		理学療法・作業療法学	修士(保健学)

12 大学院設置基準第14条による教育特例

社会人入学者の大学院での学修を容易とするために、大学院設置基準第14条による教育方法の特例に基づく昼夜開講制による教育を実施しています。

昼夜開講制の授業時間帯は、昼間(9:00~17:50、5時限まで)、夜間(18:00~21:10、6・7時限)です。また、必要に応じて土曜日、日曜日及び祝日等に集中講義や研究指導を行うことがあります。なお、一般選抜入学者についても夜間等の授業時間帯の履修が必要な学生には、履修を認めています。

13 長期履修学生制度

職務を有している等の事情で、通常の学生よりも1年間または1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、標準修業年限(2年間)を超えた在学をしなければ修了することができないと考える者に対して、本人の申請に基づき審査を行い、標準修業年限を超えた在学をあらかじめ認めたとうえで在学(1年間又は2年間)し、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度があります。詳細については、入学手続前までに学務課にお問い合わせください。

14 障害を有する入学志願者の事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障害(次表参照)がある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ下記の照会先へ相談してください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満又は視力以外の障害が高度なもので、拡大鏡等を使用しても文字等を認識することが不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等を使用しても通常の話声を理解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1. 肢体不自由の状態が、補装具を使用しても歩行等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 前号の程度未満で、常時の医学的な観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者 (身体虚弱者を含む。)	1. 疾患の状態(慢性の呼吸器系疾患等)が、継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が、継続して生活規制を必要とする程度のもの

(注) 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

(1) 時期

相談の内容によっては、本研究科の入学者選抜試験までに対応できず、特別措置が講じられないこともありますので、なるべく出願期間の数日前までに相談してください。

(2) 方法

電話での相談又は本研究科での相談いずれでもかまいませんが、場合によっては下記事項を記載した書類(様式任意)を提出していただく場合があります。

志願する研究科の領域及び分野名、氏名、生年月日
障害の種類、程度(医師の診断書が必要な場合があります。)
受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
大学等在学中にとられていた特別措置
日常生活の状況
本人の現住所及び連絡先電話番号

(3) 照会先

鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課大学院係

TEL 099 - 275 - 5120

FAX 099 - 275 - 5136

15 入試情報の公開・開示

入試情報の公開・開示は次により学務課で行います。

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学辞退者数および入学者数の公開

志願者数、受験者数は試験終了後、合格者数は合格発表後に公開します。

入学辞退者数、入学者数は平成24年4月1日以降に公開します。

(2) 試験問題、正解・解答例の開示

請求に基づき試験問題は試験終了後、正解・解答例は合格発表後に開示します。

ただし、正解・解答例に代えて出題意図を開示する場合があります。

(3) 入試成績に関する個人情報の開示

受験者本人からの請求に基づき、各試験科目の得点、面接等の評価、合否の別を書面により開示します。

入試成績の開示は、当該年度の入試に限り開示し開示期間は合格発表後2か月間とします。遠隔地等の理由により、来学が困難な場合は学務課に問い合わせてください。

鹿児島大学大学院保健学研究科保健学専攻博士前期課程

看護学領域及び理学療法・作業療法学領域の概要

1. 目的

1. 看護学領域

- (1) 看護職者として高度の専門知識と問題解決能力を有する実践指導者の育成
- (2) 看護学の科学的進歩と多様化に柔軟に対応できる創造的教育・研究者の育成
- (3) 保健・医療・福祉分野の施設において、幅広い包括的立場に立脚した管理運営のできる実践指導者の育成
- (4) 保健医療福祉の国際的分野で活躍貢献できる専門看護職者の育成
- (5) 離島の保健・医療・福祉に積極的に貢献できる実践指導者の育成

2. 理学療法・作業療法学領域

- (1) 理学療法・作業療法学領域における教育・研究者としての人材の育成並びに教育・研究における指導力を有する人材の育成
- (2) 高度な専門的知識と技術を有し、実践能力をもつ専門職の育成並びに社会人の再教育
- (3) 離島を含む地域の保健医療に貢献できる技術開発のできる能力者の育成
- (4) 高齢者介護支援システムの質的向上を図る能力者の育成
- (5) 国際保健医療の分野で活動できる人材の育成

2. 各領域・分野の概要

1. 看護学領域

看護学領域には、基礎看護・地域看護学分野、臨床看護学分野の2分野を置き、専門的立場から保健・医療・福祉に関する多様化したニーズに対応できる実践的な専門看護職者と教育・研究者の育成を行う。

(1) 基礎看護・地域看護学分野

これからの看護学においては、人々の多様なニーズを捉え、保健医療福祉システムの変革や複雑かつグローバル化する健康問題に柔軟に対応する能力が要求される。そのために基礎看護学の分野では、適切な看護を提供するための看護科学の基盤となる理論と技術について研究・教育し、さらに看護病態学的課題についても教育・研究を行う。また地域看護学の分野では、ヘルスケアの需要者、供給者にとって望ましいシステムを構築するために、臨床/技術的レベル、制度/政策的レベルでの問題解決能力を身につけることを目標とする。さらに看護疫学的課題についても教育・研究を行う。

(2) 臨床看護学分野

看護にとっての臨床は、医療施設だけでなく社会復帰施設や地域など、人々が生活する場のすべてである。当分野ではこれらの様々な場で生活する人々の健康に関連する課題を、その場の特性や対象の心身の成長・発達特性を踏まえて総合的かつ実践的に把握し、人々がより健康的でQOLの高い生活を実現できるように看護する人材を育成する。

2. 理学療法・作業療法学領域

理学療法・作業療法学領域は、理学療法学及び作業療法学を教育・研究内容とする。

近年、理学療法・作業療法はますます重要視され、高度技術と専門知識が要求されている。基盤的並びに先端的な教育・研究を推進し、応用力の高い基礎能力や技術を修得し、解決していく能力および独創的な研究を行える専門的知識と技術を持った教育・研究者を養成する。また、現状の保健医療の改善を図る実践能力を持ち、地域の保健医療に貢献できる高度専門職を育成し、新しい医療技術や医療機器を開発できる卓越した専門職の育成、実践の場でリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

理学療法・作業療法学領域は、理学療学分野および作業療学分野からなる。

(1) 理学療学分野

リハビリテーションの対象となる運動器系、神経系、呼吸・循環器系における種々の疾患の病態・発生機序の解明および治療を目的とし、生理学的、病理学的および神経学的な教育・研究の指導を行う。同時にこれら疾患に起因する機能障害の理解を深め、理学療法学の知識と技術の確立に寄与するような指導を行う。また、理学療法の臨床の場で研究的手法を用い、臨床能力を向上させることが可能となることを目標とし、運動器系の障害に対する理学療法の教育・研究指導を行う。このように理学療法学に関する基礎的並びに臨床的な教育・研究を通して、疾患、障害および治療法の実践的教育・研究に対応できる高度な技術と科学的知識をもった理学療学分野における研究者・指導者の育成を行う。

(2) 作業療学分野

脳損傷患者の身体および高次脳機能障害においては、種々の動作および認知障害の応用動作能力または社会的適応能力の回復を図るために、基盤的・先端的な作業療法的および神経心理学的分析とアプローチ方法を教育し、これらの脳・神経や筋におけるメカニズムの解明と新たな実践方法の開発を目的とする研究を指導する。

また、精神・発達障害に対する教育では、医療機関や地域社会で行われる精神・発達障害の作業療法において中心的な役割を果たす高度専門職の育成を図り、研究は、医療機関にとどまらず地域社会をも、その実践基盤として包含しつつある作業療法の新たな理論の構築と実践技術の開発を目的とする。

3. 教員の研究課題等

看護学領域

連絡先 市外局番：099 - , E-mail address - @以下に health.nop.kagoshima-u.ac.jp

所属分野	職名	氏名 (連絡先)	担当授業科目	研究課題
基礎看護学 ・ 地域看護学 分野	教授	吉田 愛知 TEL・FAX 275-6767 E-mail aichi-y@	生活習慣病特論 看護病態学特論 基礎看護学特論 基礎看護学演習	1. 乳腺疾患の病理組織及び超微形態に関する研究 2. 心疾患の病理学的研究 3. 肝疾患の病理学的研究
	教授	八代 利香 TEL・FAX 275-6755 E-mail yatsu-r@	看護教育・コンサルテーション論 看護学研究方法論 基礎看護学特論 基礎看護学演習 国際保健・看護学特論 基礎看護・地域看護学特別研究	1. 看護の人的資源に関する国際的研究 2. 医療の安全と患者の権利に関する研究 3. 国際看護教育に関する研究
	教授	波多野 浩道 TEL・FAX 275-6793 E-mail hatano@	保健管理学特論 離島・遠隔保健特論 地域保健学特論 地域看護学演習 基礎看護・地域看護学特別研究	1. ヘルスサービス利用研究 2. 保健行動モデルの研究 3. 離島保健医療システムの研究 4. 医療の質評価研究
	教授	大友 優子 TEL・FAX 275-6740 E-mail otomo@	看護教育・コンサルテーション論 看護管理論 看護学研究方法論 地域看護学特論 地域看護学演習	1. 健康政策の展開過程の研究 2. 貧困世帯に対する健康政策，実践の研究 3. 社会的援護を要する人々の組織化，運営の研究
	教授	松成 裕子 TEL・FAX 275-6745 E-mail matsuy@	看護教育・コンサルテーション論 看護学研究方法論 基礎看護学特論 基礎看護学演習 国際保健・看護学特論 国際コミュニケーション教育論 看護管理論 基礎看護・地域看護学特別研究	1. 人材育成・キャリア開発に関する研究 2. 災害時のシステム管理に関する研究 3. 看護技術の実証的研究 4. 健康管理行動に関わる調査研究
臨床看護学 分野	教授	堤 由美子 TEL・FAX 275-6757 E-mail y-tsutsumi@	看護教育・コンサルテーション論 看護学研究方法論 精神看護学特論 精神看護学演習 臨床看護学特別研究	1. がん患者の心理と看護の研究 2. 心の病いを有する患者への看護 3. 援助関係技術に関する研究
	教授	緒方 重光 TEL・FAX 275-6758 E-mail sea-ogata@	看護学研究方法論 成人看護学特論 成人看護学演習 臨床看護学特別研究	1. 口腔形態機能に関する研究 2. 咀嚼筋と口腔リハビリテーションに関する研究
	教授	木佐 貴 彰 TEL 275-6766 FAX 275-6748 E-mail akira-k@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp	生活習慣病特論 成人・老年疾病学特論 成人看護学演習 臨床看護学特別研究	1. 循環器領域における内科・看護学の研究 2. 心臓超音波医学に関する研究

臨 床 看 護 学 分 野	教授	丹羽 さよ子 TEL・FAX 275-6751 E-mail n-sayo@	看護学研究方法論 看護教育・コンサルテーション論 チーム医療特論 老年看護学特論 老年看護学演習 臨床看護学特別研究	1. 老年看護に関する研究 2. ソーシャルサポートに関する研究 3. リハビリテーション看護に関する研究
	教授	新地 洋之 TEL・FAX 275-6756 E-mail shinchi@m.kufm. kagoshima-u.ac.jp	生活習慣病特論 成人・老年疾病学特論 成人看護学演習 臨床看護学特別研究	1. 消化器がんに対する集学治療 2. がん患者に対するオーダーメイド治療の構築 3. 高齢者に対するがん治療 4. 補完代替医療の延命効果 5. 緩和的がん治療の有効性
	教授	吉留 厚子 TEL 275-6790 E-mail yosidome@	看護教育・コンサルテーション論 看護学研究方法論 母性看護学特論 母性看護学演習 国際保健・看護学特論 臨床看護学特別研究	1. 母乳哺育 2. 望まない妊娠を防止する研究 3. 更年期女性の援助 4. 鹿児島県における母子保健
	教授	藤野 敏則 TEL・FAX 275-6752 E-mail toshinet@	医療倫理学特論 チーム医療特論 母子疾病学特論 母性看護学演習 臨床看護学特別研究	1. 流産・習慣流産の診療・研究並びに同疾患を持つ患者のケア 2. 産婦人科疾患患者の QOL 3. 子宮頸がんの集団検診
	教授	武井 修治 TEL・FAX 275-6750 E-mail syuji@m2. kufm.kagoshima- u.ac.jp	母子疾病学特論 医療倫理学特論 小児看護学演習 臨床看護学特別研究	1. 小児リウマチ膠原病の診断治療 2. 小児慢性難治性疾患の患児・家族支援 3. 小児慢性疾患のキャリアオーバー
	准教授	下敷領 須美子 TEL・FAX 275-6791 E-mail sumiko@	看護教育・コンサルテーション論 母性看護学特論 母性看護学演習 臨床看護学特別研究	1. 思春期健康教育 2. 離島における助産師活動 3. 青年期の性差観と DV に関する意識
	講師	井上 尚美 TEL・FAX 275-6765 E-mail midwifeb@	母性看護学演習	1. 周産期の家族に関する研究 2. 子育てパートナーとしての夫婦に関する研究
	講師	山下 早苗 TEL・FAX 275-6764 E-mail y-sanae@	看護倫理 小児看護学特論 小児看護学演習	1. 小児がん看護 2. 小児看護における倫理 3. 小児救急看護

理学療法・作業療法学領域

連絡先 市外局番：099 - , E-mail address - @以下に health.nop.kagoshima-u.ac.jp

所属分野	職名	氏名 (連絡先)	担当授業科目	研究課題
理学療法 分 野	教授	前田 哲男 TEL 275-6775 FAX 275-6804 E-mail maeda@	理学療法・作業療法学研究方法論 動作障害解析学特論 運動器障害理学療法学演習 理学療法学特別研究	1.運動学や臨床運動学に関する研究 2.運動療法に関する研究 3.特に筋力や動作の力学的解析が関係する研究
	教授	吉田 義弘 TEL 275-6770 FAX 275-6804 E-mail yoshiday@	加齢・老年学特論 理学療法・作業療法学研究方法論 神経障害学特論 生体基礎理学療法学演習 理学療法学特別研究	1.脳神経障害動物モデルの障害メカニズム 解明に関する研究 2.脳神経障害動物モデルの運動療法の効果 に関する研究 3.HAM/TSPに関する研究
	教授	吉元 洋一 TEL 275-6774 FAX 275-6804 E-mail yosimoto@	離島・遠隔保健特論 理学療法・作業療法学研究方法論 生活環境動作解析学特論 運動器障害理学療法学演習 理学療法学特別研究	1.地域リハビリテーションに関する研究 2.高齢者の体力に関する研究 3.筋の硬度（弾性）に関する研究
	教授	米 和徳 TEL 275-6771 FAX 275-6804 E-mail kazunori@ m.kufm.kagoshima -u.ac.jp	加齢・老年学特論 理学療法・作業療法学研究方法論 機能障害診断・治療学特論 運動器障害理学療法学演習 理学療法学特別研究	1.急性脊髄損傷の病態に関する研究 2.慢性圧迫による脊髄変性に関する研究 3.神経の再生に関する研究 4.加齢に伴う運動器の変形に関する研究
	准教授	大重 匡 TEL 275-6773 FAX 275-6804 E-mail ohshige@	チーム医療特論 理学療法・作業療法学研究方法論 病態生理理学療法学特論 生体基礎理学療法学演習 理学療法学特別研究	1.呼吸器疾患の理学療法に関する研究 2.循環器疾患の理学療法に関する研究 3.温熱療法に関する研究 4.動作分析に関する研究
	准教授	福留 清博 TEL 275-6741 E-mail fk@	生命情報科学特論 理学療法・作業療法学研究方法論 動作障害解析学特論 運動器障害理学療法学演習 理学療法学特別研究	1.人の姿勢制御 2.姿勢および運動等の可視化 3.DNAの高次および超高次構造
	准教授	榊 間 春利 TEL 275-6778 E-mail sakaki@	理学療法・作業療法学研究方法論 病態構造解析学特論 生体基礎理学療法学演習 理学療法学特別研究	1.神経障害に対する理学療法介入の基礎的 研究 2.骨格筋障害に対する理学療法介入の基礎 的研究 3.脊椎疾患の理学療法に関する研究

作業療法学分野	教授	岩瀬 義昭 TEL 275-6782 FAX 275-6786 E-mail iwase@	チーム医療特論 作業動作分析学特論 動作・認知作業療法学演習 作業療法学特別研究	1. 作業療法教育史 2. 作業療法教育方法論に関する研究 3. 身体障害者地域在宅リハビリテーション
	教授	深野 佳和 TEL・FAX 275-6745 E-mail fukano@	理学療法・作業療法学研究方法論 発達障害動作学特論 精神・発達障害作業療法学演習 作業療法学特別研究	1. 認知 - 動作プロセスの発達と障害に関する研究 2. イメージ発現・操作の発達と障害に関する研究 3. 動作コントロールに関する研究
	教授	築瀬 誠 TEL・FAX 275-6785 E-mail yanase@	離島・遠隔保健特論 精神障害作業療法学特論 精神・発達障害作業療法学演習 作業療法学特別研究	1. 精神障害者に対する作業療法技法と効果判定に関する研究 2. 精神障害者のリハビリテーションに関する研究 3. 精神障害者家族の支援に関する研究
	講師	窪田 正大 TEL・FAX 275-6807 E-mail kubota@	高次脳機能障害リハビリテーション学特論 動作・認知作業療法学演習	1. 脳血管障害に対する高次脳機能障害リハビリテーションに関する研究 2. 脳血管障害に対する高次脳機能障害に関する研究

保健学研究科共通科目

連絡先 市外局番：099 - , E-mail address - @以下に health.nop.kagoshima-u.ac.jp

職名	氏名 (連絡先)	担当授業科目	研究課題
講師	内尾 ホープ TEL・FAX 275-6744 E-mail h.uchio@	国際コミュニケーション教育論	1. 外国人のための英語教育, 実用的な英語学習方法研究 2. 異文化コミュニケーション